

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月24日作成

事業番号	011505	担当課等	消防本部 消防署							
事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	01	事業開始年度	令和 2 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P106 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅲ 安全・安心の実現	14 消防救急	(2) 救急業務体制の整備	③ 救急資器材の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	新型コロナウイルス感染症への持続的な対応力を強化するもの。								
対象	消防職員、地域住民								
内容	感染症対策資器材を増強し感染症対策の徹底を図るもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)	
コスト	事業費	0	5,733,280	1,440,032	
	人件費		331,684	326,003	
	常勤職員				
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	331,684	326,003	
	総事業費	0	6,064,964	1,766,035	
財源内訳	国庫支出金		5,733,280	1,440,032	
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	331,684	326,003	
	財源合計	0	6,064,964	1,766,035	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
感染症対策資器材の購入等	感染症対策一式	購入数	—	414	228
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
感染症対策資器材の整備数	必要在庫数の維持	購入数	—	479	283

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	感染防止対策を強化し、安全管理を徹底することにより、安定した住民サービスが継続できる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	隊員の感染リスクが大幅に軽減されている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	感染対策資機材の強化・増強により、効率的な活動を可能とする。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	効率的な活動に寄与するため、町民に対し安定したサービスが提供できる。

令和2年度までの自己評価または改善点	感染対策資機材を強化・増強することで職員の感染リスクを軽減するとともに、活動の効率化が図れ迅速な災害対応が可能となっている。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	消防用感染防止対策物品購入のため(感染性廃棄物の収集は委託)
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和4年度以降の方向性	地域感染状況を見極め、計画的に更新整備する。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	新型コロナウイルス感染症の感染状況により、必要資機材の見直しを行い継続的に実施する。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月9日作成

事業番号	012862	担当課等	消防本部 警防課							
事務事業名	抗原検査キット等備蓄事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	01	事業開始年度	令和 2 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P58 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	2 ともに支え合い笑顔で 暮らせるまちづくり	I 保健・医療の充実	2 予防対策	(2) 感染症対策の推 進	② 感染症に関する正し い知識の普及啓発				
関連する個別計画	予防接種事業(保健センター)								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校や事業所等で新型コロナウイルス感染症陽性者が確認された際、県が検査を実施する濃厚接触者以外の方を対象に、自身が感染しているか迅速に判断できるよう、抗原検査キットを配布するために購入し備蓄する。								
対象	感染者が確認された町内の事業所等の濃厚接触者以外で希望する方。								
内容	抗原検査キットの配布及び備蓄。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	0	0	6,145,000		
	人件費			579,560		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	579,560		
	総事業費	0	0	6,724,560		
財源内訳	国庫支出金			6,145,000		
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	579,560		
	財源合計	0	0	6,724,560		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
管理用品購入		抗原検査キットの購入	個	-	0	1,575
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
管理用品購入		抗原検査キットの購入	個	-	0	1,575

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し予定
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し予定
類似性	他事業との類似はないか		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し予定
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し予定
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し予定
令和2年度までの自己評価または改善点		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	物品の購入等
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和4年度以降の方向性	新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては見直しも検討する。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえ、見直しを検討する。
------	---------	---------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	
------	---------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月24日作成

事業番号	012863	担当課等	消防本部 消防署							
事務事業名	救急活動感染症対策用資器材整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	01	事業開始年度	令和 2 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P106 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅲ 安全・安心の実現	14 消防救急	(2) 救急業務体制の整備	③ 救急資器材の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	感染症患者搬送時、消防職員や家族等への二次感染を防止するため、防護服等を整備するもの。								
対象	消防職員、感染患者家族等								
内容	職員防護用品一式、感染症患者搬送装置及びオゾン水生成装置を整備するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	0	0	2,959,968		
	人件費			326,003		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	326,003		
	総事業費	0	0	3,285,971		
財源内訳	国庫支出金			2,959,968		
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	326,003		
	財源合計	0	0	3,285,971		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
感染症対策資器材の購入		感染症対策一式	購入数	—	0	206
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
感染症対策に必要な資器材及び在庫数		感染症対策に必要な資器材の整備及び在庫数の維持	購入数		0	228

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し予定
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し予定
類似性	他事業との類似はないか		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し予定
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し予定
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し予定
令和2年度までの自己評価または改善点		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	感染対策資機材を強化・増強することで職員の感染リスクを軽減するとともに、活動の効率化が図れ迅速な災害対応を可能とする。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	感染症拡大状況により、消耗品在庫量等の調整。	
令和4年度以降の方向性	地域感染状況を見極め、計画的に更新整備する。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	新型コロナウイルス感染症の感染状況により、必要資器材の見直しを行い継続的に実施する。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月11日作成

事業番号	004374	担当課等	消防本部 総務課							
事務事業名	消防団活動用資機材等整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	02	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P105 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅲ 安全・安心の実現	14 消防救急	(1) 消防体制の整備	③ 非常備消防体制(消防団)の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	県補助を受けながら各分団が必要とする資機材等を整備する。								
対象	消防団の資機材								
内容	投光器やホース、安全装備品等を順次整備する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	853,200	841,995	877,250		
	人件費	927,930	884,490	869,340		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	927,930	884,490	869,340		
	総事業費	1,781,130	1,726,485	1,746,590		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	426,000	296,000	426,000		
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,355,130	1,430,485	1,320,590		
	財源合計	1,781,130	1,726,485	1,746,590		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
備品購入		メニュー方式	円	853,200	841,995	877,250
県補助額		補助対象	円	426,000	296,000	426,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
備品購入		メニュー方式	円	853,200	841,995	877,250
県補助額		補助対象	円	426,000	296,000	426,000

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 消防団事業のため必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 士気高揚に資している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 各消防団が必要な資機材等をそろえている。
令和2年度までの自己評価または改善点	消防団活動時に必要となる資機材を整備する。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	物品の購入等
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	消防団活動時に必要となる各種資機材等を整備していく。	
令和4年度以降の方向性	活動時に必要となる各種資機材等を、今後も継続して整備していく。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	消防団活動の充実・強化のため、継続する必要がある。
------	----------	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月24日作成

事業番号	010702	担当課等	消防本部 消防署							
事務事業名	消防ポンプ自動車(常備)整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	03	事業開始年度	平成 30 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P105 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅲ 安全・安心の実現	14 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常時消防体制(消防本部・消防署)の整備				
関連する個別計画	消防車両整備計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
		○							
目的	常備消防の消防ポンプ自動車を消防車両整備計画に基づき、整備することで消防力の充実強化を図るものです。								
対象	消防ポンプ自動車								
内容	災害の最前線で活動する消防ポンプ自動車を整備するもの。 令和2年度: 配備から20年経過し奥湯河原分署に配備されていた消防ポンプ自動車の更新								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	0	41,023,670	0		
	人件費		2,653,470	0		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	2,653,470	0		
	総事業費	0	43,677,140	0		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金		6,616,000			
	地方債		34,100,000			
	その他特定財源					
	一般財源	0	2,961,140	0		
	財源合計	0	43,677,140	0		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
備品購入		消防ポンプ自動車	台	0	1	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
消防力の整備指針に基づく整備数		消防力の整備指針に基づく整備数の維持	台	0	1	0

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 消防活動に不可欠な資機材であり、かつ防災能力の維持・向上を確保するため、計画的な更新整備が必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 更新により最新の機能を有する車両を配備することで、より効率的な災害活動が期待できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 消火活動において効率性が向上する。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 対応力の向上により、災害の早期収束に寄与する。

令和2年度までの自己評価または改善点	消防車両整備計画により消防ポンプ自動車の更新は17年(15年で主要装備の機能低下)としているが、更新を延長することにより、その後の計画に影響を及ぼすことになる。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 消防車両の整備事業であり、使用する消防が実施する必要がある。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	消防車両整備計画の見直し。
令和4年度以降の方向性	今後も計画どおり実施(整備)していく。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	消防力を維持するため整備計画に基づき継続的に更新整備を行う必要がある。
------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月11日作成

事業番号	010704	担当課等	消防本部 消防署							
事務事業名	消防ポンプ自動車(常備)整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	04	事業開始年度	令和 2 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P105 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和 した安全・安心のまち づくり	Ⅲ 安全・安心の実現	14 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常時消防体制(消防 本部・消防署)の整備				
関連する個別計画	消防車両整備計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	真鶴分署の消防ポンプ自動車を消防車両整備計画に基づき、整備することで消防力の充実強化を図るものです。								
対象	消防ポンプ自動車								
内容	災害の最前線で活動する消防ポンプ自動車を整備するもの。 令和2年度: 配備から18年経過した真鶴分署配備の消防ポンプ自動車を更新								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	0	41,573,890	0		
	人件費		2,653,470			
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	2,653,470	0		
	総事業費	0	44,227,360	0		
財源内訳	国庫支出金		13,831,000			
	県支出金		6,616,000			
	地方債					
	その他特定財源		21,126,890			
	一般財源	0	2,653,470	0		
	財源合計	0	44,227,360	0		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
備品購入		消防ポンプ自動車	台	0	1	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
消防力の整備指針に基づく 整備数		消防力の整備指針に基づく 整備数の維持	台	0	1	0

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	消防活動に不可欠な資機材であり、かつ防災能力の維持・向上を確保するため、計画的な更新整備が必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	更新により最新の機能を有する車両を配備することで、より効率的な災害活動が期待できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	消火活動において効率性が向上する。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	対応力の向上により、災害の早期収束に寄与する。

令和2年度までの自己評価または改善点	消防車両整備計画により消防ポンプ自動車の更新は17年(15年で主要装備の機能低下)としているが、更新を延長することにより、その後の計画に影響を及ぼすことになる。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 消防車両の整備事業であり、使用する消防が実施する必要がある。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	消防車両整備計画の見直し。
令和4年度以降の方向性	今後も計画どおり実施(整備)していく。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	消防力を維持するため整備計画に基づき継続的に更新整備を行う必要がある。
------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月11日作成

事業番号	009833	担当課等	消防本部 消防署							
事務事業名	消防用資機材等整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	04	事業開始年度	令和元年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P105 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅲ 安全・安心の実現	14 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常時消防体制(消防本部・消防署)の整備				
関連する個別計画	消防用ホース整備計画 空気呼吸器用ボンベ整備計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	各種整備計画に基づき、消防用資機材の整備を行うもの。								
対象	消防署員が使用する資機材								
内容	消火活動において不可欠となる資機材を更新整備するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)			
	事業費	855,468	715,000	0		
コスト 人件費	常勤職員	61,862	58,966			
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	61,862	58,966	0		
	総事業費	917,330	773,966	0		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	917,330	715,000			
	一般財源	0	58,966	0		
	財源合計	917,330	773,966	0		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値	
資機材(ホース)の購入	消防用ホース配備	本	7	7	0	
資機材(呼吸用ボンベ)の購入	呼吸器用ボンベの配備	本	2	2	0	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値	
更新整備計画に基づく配備数	更新整備計画に基づく	本	7	7	0	
	配備数の維持	本	2	2	0	

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	消火活動等に不可欠な資機材である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	隊員の安全が確保される。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	より安全に災害活動に従事できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	隊員の安全性向上が二次災害防止(受傷事故)にも寄与する。

令和2年度までの自己評価または改善点	必要最低数の整備となっている。
--------------------	-----------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 消防用資機材であり、使用する消防が実施する必要がある。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和4年度以降の方向性	各種整備計画どおり消防用資機材の整備を継続し、保有基準数を確保する。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	消防力を維持するため整備計画に基づき継続的に更新整備を行う必要がある。
------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月24日作成

事業番号	010702	担当課等	消防本部 総務課								
事務事業名	消防ポンプ自動車(非常備)整備事業										
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	03	事業開始年度	平成	年度

事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P105 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和 した安全・安心のまち づくり	Ⅲ 安全・安心の実現	14 消防救急	(1) 消防体制の整備	③ 非常備消防体制(消 防団)の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	非常備消防(消防団)の消防ポンプ自動車を、消防団車両更新整備計画に基づき、整備することで消防力の充実強化を図るものです。								
対象	消防ポンプ自動車(消防団)								
内容	災害で活動する消防ポンプ自動車(消防団)を整備するもの。 令和3年度:配備から18年経過し、第9分団(福浦地区)に配備されていた消防ポンプ自動車の更新								

実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
コスト	事業費	0	0	21,697,000		
	人件費			2,608,020		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	2,608,020		
	総事業費	0	0	24,305,020		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金			6,709,000		
	地方債			14,500,000		
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	3,096,020		
	財源合計	0	0	24,305,020		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
備品購入		消防ポンプ自動車	台	0	0	1
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
消防力の整備指針に基づく 整備数		消防力の整備指針に基づく 整備数の維持	台	0	0	1

令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 消防活動に不可欠な資機材であり、各地区の防災能力の維持・向上を確保するため、計画的な更新整備が必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 更新により最新の機能を有する車両を配備することで、より効率的な災害活動が期待できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 消火活動において効率性が向上する。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 対応力の向上により、災害の早期収束に寄与する。

令和2年度までの自己評価または改善点	消防団車両更新整備計画に基づき更新しているが、1台の更新を延長することにより、その後の計画に影響を及ぼすことになる。
--------------------	--

見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 消防車両の整備事業であり、使用する消防(団)が実施する必要がある。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	第9分団車両を更新(3.5t未満の消防ポンプ自動車)
令和4年度以降の方向性	今後も計画どおり実施(整備)していく。

一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	消防力を維持するため整備計画に基づき継続的に更新整備を行う必要がある。
------	----------	-------------------------------------

財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月11日作成

事業番号	010917	担当課等	消防本部 消防署							
事務事業名	高機能消防指令センター整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	03	事業開始年度	平成 19 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P105 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅲ 安全・安心の実現	14 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常時消防体制(消防本部・消防署)の整備				
関連する個別計画	消防車両整備計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	5年経過時に情報系パソコン等のリフレッシュ改修、10年に1度の全更新をすることで高機能消防指令センターの充実強化、機能維持を図るものです。								
対象	高機能消防指令センター								
内容	自動出動指定装置、地図等検索装置、長時間録音装置、気象情報収集装置等、高機能消防指令センターの機器更新整備。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)	
コスト	事業費	0	0	149,468,000	
	人件費			701,200	
	常勤職員				
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	701,200	
	総事業費	0	0	150,169,200	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債			106,700,000	
	その他特定財源			41,619,000	
	一般財源	0	0	1,850,200	
	財源合計	0	0	150,169,200	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
工事請負費	高機能消防指令センター	台	0	0	1
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
消防力の整備指針に基づく整備数	消防力の整備指針に基づく整備数の維持	台	0	0	1

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 消防活動に不可欠な設備であり、かつ指令機能の維持・向上を確保するため、計画的な更新整備が必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 更新により最新の機能を有する高機能指令センターを配備することで、より安定した効率的な指令業務が期待できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 住民への安定した消防・救急サービスの提供が図れる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 効率的な指令業務により、迅速・確実な対応が図られ均等なサービスに寄与する。

令和2年度までの自己評価または改善点	運用開始から10年以上が経過すると、修理部品の提供に支障が出る。
--------------------	----------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 高機能消防指令センターの整備事業であり、使用する消防が実施する必要がある。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和4年度以降の方向性	今後も機能を維持するため実施(整備)していく。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	消防力を維持するため整備計画に基づき継続的に更新整備を行う必要がある。
------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和3年11月24日作成

事業番号	013252	担当課等	消防本部 総務課							
事務事業名	消防庁舎シャワー室等改修事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	03	事業開始年度	令和 3 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P105 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅲ 安全・安心の実現	14 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常時消防体制(消防本部・消防署)の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	消防職員の職場環境の整備								
対象	消防職員								
内容	消防本部庁舎の浴室は、全体的に経年劣化に伴う腐食等がみられるほか、複数人が同時に利用できない施設であるため、迅速に次の災害に備えられるよう複数人が同時に利用できるシャワー室に改修するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	0	0	6,963,000	
コスト 人件費	常勤職員		144,890		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	144,890	
総事業費	0	0	7,107,890		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債		6,900,000		
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	207,890	
財源合計	0	0	7,107,890		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
整備された施設の利用人数	職場環境が向上した職員数	人	-	-	75
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
整備された施設の利用人数	職場環境が向上した職員数	人	-	-	75

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	令和3年度のみ
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	令和3年度のみ
類似性	他事業との類似はないか	令和3年度のみ
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	令和3年度のみ
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	令和3年度のみ
令和2年度までの自己評価または改善点	令和3年度のみ	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	委託・指定管理の性質にそぐわないため
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和4年度以降の方向性	令和3年度で事業完了。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	消防職員が利用するシャワー室の整備は完了するため(令和4年3月完了予定)
------	----	--------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	
------	----	--